

「横浜ビジョン(案)」の概要

1 基本姿勢

両大会に向けた基本姿勢として次の4つを掲げています。

- オール横浜でラグビーワールドカップ 2019™、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの成功に最大限貢献します。
- スポーツと文化芸術を両輪とした取組により、賑わいと活力を創出します。
- 世界中から様々な人々が訪れる両大会、とりわけパラリンピックを契機に誰もが互いに尊重し、支え合う共生社会の実現を目指します。
- 両大会に向けた取組の成果を「次の世代への贈り物（レガシー）」として遺し、横浜のさらなる飛躍につなげます。

2 取組の4つの柱

基本姿勢に基づく取組の柱を次の4つとしました。

(1) 両大会の成功に向けてオール横浜でおもてなし

ラグビーワールドカップ 2019™は決勝戦開催都市として、東京 2020 オリンピック・パラリンピックは競技開催都市として、関係機関と連携して円滑な大会運営に取り組むとともに、国内外から訪れる皆様を全力でおもてなしします。

ソフト・ハード両面でのバリアフリーを推進するとともに、開催都市プロモーション・広報やイベントなどによる機運の醸成や、トレーニングキャンプの受入れ等を通じた国際交流などで両大会を大いに盛り上げ、ラグビーワールドカップ 2019™、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに対して最大限の貢献をしていきます。

(2) スポーツを通じて横浜を元気に

ラグビーワールドカップ 2019™、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に、地域スポーツや障害者スポーツをはじめ、さらなるスポーツ振興に取り組み、障害の有無や世代に関わらず子どもから高齢者まで全ての市民がスポーツや運動に親しみ、健康で心豊かに生き生きと暮らすことができる、元気な横浜の実現を目指します。

(3) 文化芸術の創造性を生かしたまちづくり

人々の活力や市民生活の向上につながる文化芸術の振興を図ります。文化芸術の持つ創造性を様々な施策に生かし、コミュニティの活性化を図るなど創造的なまちづくりを進めます。

横浜ならではの文化プログラムを実施し国内外に発信するとともに、賑わいづくりと経済の活性化につなげます。

(4) 横浜を世界に魅せる

横浜のプレゼンスやブランド力を高めるためのシティプロモーションを展開し、文化芸術創造都市、環境未来都市、世界に開かれた国際都市、ビジネスチャンスあふれる都市など、横浜が持つ様々な姿を世界に魅せていきます。

また、国内外からの誘客を強化し、観光客など来訪者の滞在環境や回遊性を一層充実させるほか、MICE機能の強化やビジネス環境の向上を進め、さらなる賑わいと活力を創出します。

3 4つの柱別の主な取組とレガシー（概要）

取組の4つの柱別に主な取組と取組から生まれるレガシー（遺産）をまとめました。

柱1 両大会の成功に向けてオール横浜でおもてなし

<主な取組>

- ・本市で開催される競技について、関係機関と連携・協力し、円滑に実施します。
- ・両大会に向けて機運を醸成し、大会を盛り上げます。
- ・トレーニングキャンプの受入やホストタウンの取組等を通じた国際交流を進め、様々な国の人々と理解し合い協働できる人材の育成などに取り組みます。



横浜国際総合競技場



横浜スタジアム

取組から生まれるレガシー

- 高い大会開催能力と世界に誇るホスピタリティを持つまちの実現
- ソフト・ハード両面でのバリアフリーの推進
- ボランティア文化の醸成・定着
- トレーニングキャンプ実施国・チームと地域とのつながり
- 多文化共生を尊重する意識や国際感覚の醸成

柱2 スポーツを通じて横浜を元気に

<主な取組>

- ・ラグビー競技の普及を図りながら、スポーツへの意欲向上と地域スポーツの振興に取り組みます。
- ・障害のある人もない人も同じようにスポーツ活動を楽しむことができるよう、広く社会全体に向けて、障害者スポーツの推進に取り組みます。
- ・子どもたちの運動に親しむ資質や能力を育て、体力の向上と、スポーツに関わる人材の育成に取り組みます。
- ・本格的な超高齢社会の到来に伴い、生活習慣の改善や介護予防を進めるため、スポーツなどを通じた健康づくりに取り組みます。

取組から生まれるレガシー

- スポーツ実施状況の向上
- パラリンピック競技や障害者スポーツの普及・促進
- 子どもたちの体力向上
- 市民の健康増進



横浜元氣!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル

柱3 文化芸術の創造性を生かしたまちづくり

<主な取組>

- ・横浜らしい特色ある芸術フェスティバルをはじめとした文化プログラムの実施により、まちに賑わいを創出するとともに、横浜の魅力を世界に発信します。
- ・子どもたちの豊かな感性や創造性を育む文化芸術体験の充実や新進アーティストの支援といった次世代育成に取り組みます。
- ・一人ひとりの市民が、地域におけるさまざまな文化芸術活動に参加し、いきいきと活動できる環境の整備や文化芸術活動への支援を行います。
- ・アーティスト・クリエイターなど創造的な人材と企業や地域との協働を推進し、創造的産業の集積・振興につなげ、創造性を生かしたまちづくりを進めます。

ヨコハマトリエンナーレ 2014
マイケル・ランディ
《アート・ピン》2010/2014
撮影：加藤健



取組から生まれるレガシー

- 「文化芸術創造都市 横浜」のプレゼンス向上
- 子どもたちや新進アーティストが横浜をはじめ世界で活躍するチャンスあふれるまちの実現
- 文化芸術活動の拠点機能の充実や地域課題の解決につながる文化芸術活動の支援などによる心豊かな市民生活の実現
- アーティスト、クリエイター、企業、地域の協働体制の確立による創造的活動の展開

柱4 横浜を世界に魅せる

<主な取組>

- ・「横浜ならではの」魅力・コンテンツの発信により、国内外から人が訪れ、賑わう「千客万来のまちづくり」を進めます。
- ・来訪者の滞在環境の向上や都心部での緑化（花）等により、来訪者や市民が「居心地がいい」と感じるようなまちづくりを進めます。
- ・再生可能エネルギー等の活用や環境に配慮したライフスタイルの推進など、世界のモデルとなるスマートシティの実現を目指します。
- ・世界に開かれた国際都市・ビジネスチャンスあふれる都市 横浜を発信します。



横浜公園

取組から生まれるレガシー

- 「選ばれる都市 横浜」の実現
- 世界のモデルとなるスマートシティ横浜の実現
- 快適な滞在環境の整備（案内サインの多言語化、通信環境の向上、駅周辺のバリアフリー、花や緑があふれるまち）
- 「国際的なMICE拠点都市」の実現